

社会科学学習指導案

指導者 三次市立布野小学校

教諭 掛田 直美

- 1 日 時 平成 28 年 11 月 21 日（月）第 6 校時
- 2 学 年 第 6 学年 10 名（男子 4 名，女子 6 名）
- 3 単元構成 「わたしたちの生活と政治」（全 20 時間）
小単元「わたしたちの願いと政治のはたらき」（本単元）
小単元「国の政治のしくみ」
小単元「わたしたちのくらしと日本国憲法」

- 4 本単元「わたしたちの願いと政治のはたらき」について

（１）単元観

小学校学習指導要領 内容（２）

「我が国の政治の働きについて，次のことを調査したり資料を活用したりして調べ，国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

本単元では，地方公共団体による政治は，市民生活と密接な関係をもち，市民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解し，よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を養うことをねらいとする。

具体的には，身近な制度や公共施設，市役所の仕事を調べることを通して，地方公共団体は市民の願いを実現させるために様々な事業を行っていることを考えさせる。また，税金の使われ方，市議会の働き，議員の選挙等の政治に関する社会的事象を調べることにより，租税の役割，議会制度や選挙の意味を考えさせることができる。さらに，政治の働きの大切さと共に，自分たちの地域課題を解決していこうとする自治の大切さを理解することにより，自らもよりよい町づくりに関わろうとする態度を育てることのできる単元である。

（２）児童観

本学級児童の社会科前単元での思考・判断・表現に関する自己評価は，以下のような結果だった。

自己評価の内容		肯定的な回答
予想する	めあてに対する予想がもてた。	100%
	予想した理由を話したり，書いたりできた。	78%
考える	考え方モデルの「比較」を使って考えることができた。	100%
	考え方モデルの「関連」を使って考えることができた。	89%
	考え方モデルの「総合」を使って考えることができた。	100%
	自分の思いや考えを理由をつけてノートに書くことができた。	89%
	ノートに書いた考えを伝わるように話すことができた。	100%
	友だちの考えにつなげて話すことができた。	56%
	友だちの考えを聞いて，自分の考えを見直したり，さらに考	89%

	えを深めたりすることができた。	
まとめる	大切なことを落とさずに自分のことばでまとめることができた。	78%
ふりかえる	予想と比べて考えが変わったことや、友達の考えを聞いて自分の考えの深まったことなど授業を通して考えたことをふりかえることができた。	89%

この自己評価によると、100%の児童が、比較・総合の考え方モデルを使って考えることができている、89%の児童が関連の考え方モデルを使って考えることができていると感じている。これは、社会科ではどのような視点で考えればよいのかというこれまでの学習の積み重ねによる成果だと考える。また、友だちの考えを聞いて、自分の考えを見直したり、さらに考えを深めたりすることができるようになっていていると感じている児童は89%である。児童のノートにも、友だちの考えと自分の考えを比べて表現しているものや、友だちの意見から考えが深まったことが表現されているものが見られるようになっていている。一方、友だちの考えにつなげて話すことができていると感じている児童は56%と低く、友だちの意見にかかわらせて発言し、考えを深める話し合いをすることに課題が見られる。

また、政治についてのアンケートによると、政治のニュースについて関心をもっている児童は4名で、理由は、「自分の暮らしに関係があるから。」「将来に関係があるかもしれないから。」となっている。一方で、政治に関心がない児童は6名で、理由は、「政治は何をすることかよく分からない。」「難しくてよく分からない。」というもので、政治を身近に感じておらず、政治と自分の生活とのかかわりを感じていない児童も見られる。

(3) 指導観

指導に当たっては、次の点に留意して行う。

まず、「政治はよく分からない」、「政治は難しい」と感じている児童に対して、政治に対する興味・関心をもたせ、理解させていくために、単元全体を通して、身近な具体例を取り上げながら学習を進めていく。

次に、市の政治についての学習では、通学路の安全確保のための取組やみよしあそびの王国の設置について取り上げ、児童が身近に感じ、実感的に理解できるようにするとともに、これらの事業は市民の願いを受けて市の政治が実現していることを学習する。そして、事業に必要な費用は税金が大きな役割を果たしていることを、市の予算を調べるなどして理解させる。その後、市民の願いの実現と税金とを関連させながら、市民の願いの中から何に重点を置いて取り組むかを判断することも政治の役割だということをについて考え、政治の見方を深めさせたい。単元の最後には、暮らしやすいまちをつくるために自分たちができることについて考え、実行していくことで、自分なりの政治とのかかわりを考えた行動化につなげていきたい。

思考力、判断力、表現力の育成に向けては、毎時間、考え方モデルを使いながら、根拠をもとにしたり、体験や既習の知識をもとにしたりして考えたことを表現させていくことを継続することで、さらに確かな力の定着をさせていきたい。また、社会的な思考・判断・表現を評価の観点の中心に据える授業では、意図的にいろいろな考えを出し合い、その考えに対する自分の考えを持ち、さらに発言をつなげていくことで思考を深めていけるような全体での話し合いの場を設定していきたい。そのためには、1時間の授業づくりで特に思考を深める発問を工夫することと、日常的に自分の考えを持つ力がつけることを意識して取り組みたい。

5 布野中学校区オリジナルカリキュラムとの関連

			小 学 校						中 学 校			
			初 期		前 期		中 期		後 期			
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生		3年生
思 考	思考力	課題の発見や解決場面で、思考の技術を使って自分の考えを整理することができる。	○何を考えたらよいか分かる。		○既習事項と関連付けたり、共通点や相違点に気付くことができる。		○一つの考えを一般化したり、既習事項を活用したりして、新しい考えかたを作り出したりすることができる。			○いろいろな視点から多面的に考えることができる。		課題の発見や解決場面で、思考の技術を使って自分の考えを整理することができる。
	取組	思考の技術（視点、比較、関連付け）の定着と活用	○発問の精選をする。		○友だちの考えをしっかりと聞かせ、違いや良さに気付かせる。		○活用することの良さを感じさせる授業づくりを行う。			○一つの事象に関わって複数の視点を提示する。 ○複数の事象に関わって同じ視点を提示する。		思考の技術（視点、比較、関連付け）の定着と活用
表 現	表現力	場面や相手により、表現技術を使い分けて、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。	○声の大きさを意識し、ルールに従って自分の考えを発表できる。		○自分の考えに理由をつけることができる。		○友だちの発言のとの関連を意識しながら、結論と理由を分かりやすく表現できる。			○自分や友だちの考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。		場面や相手により、表現技術を使い分けて、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
	取組	表現技術（相手意識、理由、構成、まとめ）の定着と活用	○「声のものさし」を指導する。 ○発言者に視線を向けさせる。		○理由を最後まで言い切らせる。 ○同じような考えでも自分の表現で発表させる。		○前の人への発表に対し、同じ意見か反対意見かを区別させる。 ○結論と理由を意識して発表させる。			○自分や相手の考えのポイントを整理する場を設定する。 ○前の人への意見との関係性（同じ、反対・異なる等）を意識させる。		表現技術（相手意識、理由、構成、まとめ）の定着と活用
ニ ャ ヴ ィ ュ	読解力	ノート等の作り方を工夫し、授業や家庭学習など、自分の学習活動に活用することができる。	○文字を丁寧に書く。 ○自分の考えを書く。		○根拠をもとに自分の考えを書く。		○友だちの考えや既習事項をもとに深まった自分の考えを書く。			○自分や友だちの考えや学習内容のまとめることができる。 ○目的に応じたノート活用ができる。		ノート等の作り方を工夫し、授業や家庭学習など、自分の学習活動に活用することができる。
	取組	ノート作りと活用する力の向上	ノートの書き方の指導・ノート整理の時間の確保・ 机間指導での個別指導・板書の工夫・家庭学習のチェック（評価）									ノート作りと活用する力の向上

○思考 政治への市民参加の必要性について、住民の願いとその実現の方法とを関連付けて考える。

○表現 地方公共団体、住民が生活の安定と向上をめざして取り組んでいることについて資料をもとに調べ、自分たちの願いを実現するためには政治の働きと共に市民参加と自治が大切であることについて考えたことを表現する。

○ノートづくり 予想とまとめ、振り返りを書く活動を通して自分の考えの深まりを捉える。

6 本単元の目標

- 地方公共団体の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、また政治と共に自治が大切であることを理解する。また、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。
- 地方公共団体の政治の働きに関する社会的事象を、見学したり資料を活用したりして調べるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現する。また、政治と共に自治の果たす役割について考え適切に表現する。

7 本単元の評価規準

ア社会的事象への 関心・意欲・態度	イ社会的な 思考・判断・表現	ウ観察・資料活用の 技能	エ社会的事象についての 知識・理解
①地方公共団体の政治の働きに関心をもち、進んで調べようとしている。 ②我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとしている。	①地方公共団体の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考えて表現している。 ②地方公共団体の働きと関連付けて、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。 ③自分たちの生活の安定と向上を図るための自治の役割について考え表現している。 ④よりよい市・町にするためにはどうすればよいか、生活経験や既習事項を活用して考えている。	① 方公共団体の政治の働きについて、必要な情報を集めて読み取っている。 ② 調べたことをレポートにまとめる。	①国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。 ②政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

8 本単元の指導計画（全8時間 本時5／8）

次 (時数)	主な内容と学習活動 【知識の構造図との関連】	関 意 態	思 判 表	観 技	知 理	評価規準	評価方法
つかむ 一 (1)	布野小学校通学路のガード柵について知り、政治と私たちの生活とのかかわりについて学習問題をつくる。【①】	◎	○			三次市の政治に関心を持ち、政治と私たちの生活とのかかわりについて、学習問題を考えている。 (ア－①②) (イ－①)	発言 ノート
	わたしたちの願いは、政治の働きによってどのように実現されているのだろうか。						
調べる・考える 二 (5)	公共施設の建設は、市民のどのような願いを取り入れ、どのように実現していったのか、資料をもとに調べる。【②】			○		みよしあそびの王国等の公共事業は、文化的な生活を送りたい、安心して子育てしたい等の市民の願いをもとに行われていることを調べている。 (ウ－①)	発言 ノート
	三次市役所や市議会の働きについて、資料を活用して調べる。【②】			○		市民の願いを実現させるための、市議会や市の政治の働きを調べまとめている。 (ウ－①)	発言 ノート
	公共施設の建設費は、どこから出ているのか、資料をもとに税金の役割について理解する。【③】				○	市民の願いを実現させるために、税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して調べたことを理解している。(エ－①)	発言 ノート
	三次市は、私たちの生活をよりよくしていくためにさまざまな願いの中からいろいろな話し合いをし、重点的な取組を決めていることについて考える。【④】 【本時】		○			三次市が私たちの生活をよりよくしていくために、市民の多様な願いの中から重点的な取組を決めていることについて考え表現している。 (イ－②)	発言 ノート

まじめる・深める 三（２）	布野町まちづくり連合会の取組について資料をもとに調べ、自分たちの願いを実現するための自治の役割について考え表現する。 【⑤】		○			布野町まちづくり連合会が、暮らしやすい町にするために取り組んでいることについて資料をもとに調べ、自分たちの願いを実現するために、政治の働きと共に、住民自治が役割を果たしていることを考え表現している。 (イー③)	ノート 発言
	暮らしやすい三次市を作るために、今、自分たちにできることを考える。【⑥】		○			三次市の政治や布野町まちづくり連合会の取組のもとに、暮らしやすい布野町にするための提案を考えている。 (イー④)	ノート 発言
	単元のまとめとして、レポートを作成する。【⑥】				○	市の政治や町づくりについての働きや仕組みを理解している。 (ウー②) (エー①②)	ノート
	わたしたちの願いは、政治の働きによって、話し合われて決定され、実現されている。 わたしたちの願いを実現し、よりよい暮らしにしていけるためには、自分たちの地域の問題を自分たちが考えていくことが大切である。						

9 本時の学習

(1) 本時の目標

三次市は、私たちの生活をよりよくしていくためのさまざまな願いの中からたくさんの人が願っていることや将来に必要なことは何かを考え話し合い、重点的な取組を決めていることについて考える。

(2) 本時の評価規準

三次市が私たちの生活をよりよくしていくために、市民の多様な願いの中から多くの市民の願いや将来に必要な願いについて話し合い、重点的な取組を決めていることについて考え表現している。
(社会的な思考・判断・表現)

(3) 準備物

地域づくり懇談会 車座対話 市民の声ポスト パブリックコメント（資料①） 地域づくり懇談会で出された要望（資料②） 三次市の人口推移と少子高齢化状況・人口減少による課題（資料③） 4つの意見（資料④） 三次市の4つの挑戦（資料⑤） 広島県内自治体こども医療費図（資料⑥） 三次市の政治の仕組み（資料⑦） 三次市の評価（資料⑧）

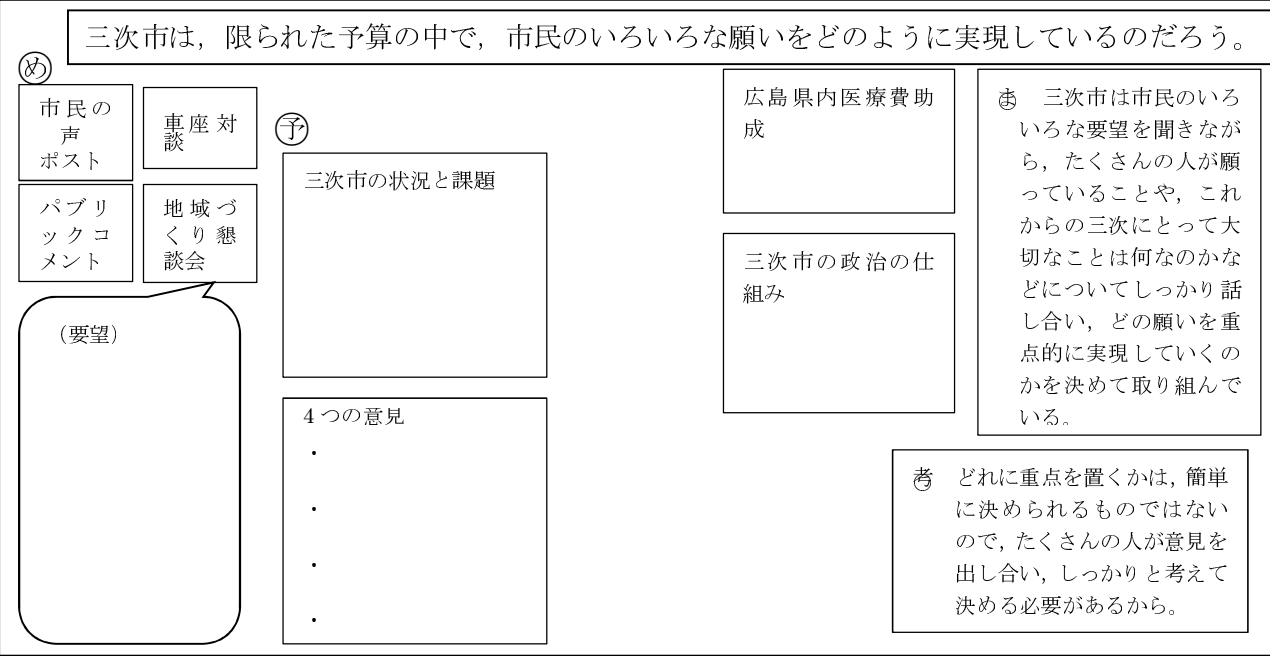
(4) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○ 発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	育てたい思考の方法	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時までの学習を振り返り、三次市が行っていることについて確認をする。	○私たちの願いをかなえるために三次市は政治を行っていることを掲示物を使って確認させる。		
	2 市民の願いを知るために三次市で行っていることを知る。	資料① 地域づくり懇談会 車座対話 市民の声ポスト パブリックコメント ○市民の願いを知るための場をたくさん設けていることを理解させる。		
	3 地域づくり懇談会で出されているさまざまな要望を知る。	資料② 地域づくり懇談会で出された要望（抜粋） ○地域づくり懇談会では市民からさまざまな要望が出ていることと前時までの学習（政治は私たちの願いを実現してくれるもの・政治は私たちの税金を使って行われていること）と関連させて学習問題につなげる。		
	4 学習課題を確認する。			
三次市は、限られた予算の中で、市民のいろいろな願いをどのように実現しているのだろう。				
	5 予想する。 ・たくさんの人が願っているものから取り組むことを決めている。 ・どの願いも実現するよう少しずつ取り組んでいる。			
調べる ・考える	6 三次市の政治をする人になったつもりで、市民の願いをどう実現していったらいいか考える。 ○どの願いに重点をおいて実現していけばよいと思いますか。 ・高齢者が増えていくのだから	○三次市の現状や課題を知り、その内容を根拠に4つの意見からどれをどのように実現していったらよいか考えさせる。 資料③ 三次市の人口推移と少子高齢化状況・人口減少による課題 資料④ 4つの意見		

	ら、高齢者のための交通を便利にすることに重点を置くべきだ。 ・子どもが増えるためには、子どもを見てくれる保育所に行けるようにすることが重要だ。 7 三次市がどのようなことに重点を置いて取り組んでいるかを理解する。 ・予算額を比べると、保育の充実が一番多いので子育て支援に重点を置いている。 8 市民がよりよい生活ができるようにしっかりと話し合って取組の内容を決めていることを考えさせる。 ○なぜこんなに長い時間をかけて話し合い、決めているのだろう。	資料⑤ 三次市の4つの挑戦 ○4つの内容について大まかに捉えるとともに、予算額を比べることを通して特に子育て支援に力を入れていることを読み取らせる。 資料⑥ 広島県内自治体ごとの子ども医療費補助図 ○他の自治体と比べても重点をおいて取り組んでいることを確認させる。 資料⑦ 三次市の政治の仕組み ○反対意見や賛成意見を議論しながら決めていることから、十分な話し合いがされていることを理解させる。 ○市民のさまざまな願い、限りある予算（税金）、三次市の課題と重点的な取組を関連させて、何を重点的に取り組むのかをしっかりと考え、話し合いながら決めていることについて考えさせる。	関連 前時までの学習と本時の学習とを関連して表現させる。	
	期待したい児童の反応 C：どれに重点を置くかは、簡単に決められるものではないので、たくさんの人が意見を出し合い、しっかりと考えて決める必要があるから。 C：限りがある予算なので、市民の生活が少しでもよくなることにつながる取組をしていくために、いろいろなことを考えながら決めていく必要があるから。			
	9 三次市の取組が認められていることを知る。	資料⑧ 三次市の評価		
まとめ	10 まとめる。 三次市は市民のいろいろな要望を聞きながら、たくさんの人が願っていることや、これからの三次にとって大切なことは何なのかなどについてしっかり話し合い、どの願いを重点的に実現していくのかを決めて取り組んでいる。	◆めあてに対応させた書き出しを示し、キーワードを確認する。		三次市が私たちの生活をよりよくしていくために、多

	まとめとして期待したい児童の反応 C：三次市は、いろいろな願いの中から、多くの人にとって大切なことや将来にとって必要なことについてしっかり話し合い、どの願いを重点的に実現していくのかを決めている。 C：三次市は、限られた予算の中で、より多くの人の願いが実現できるのは何かいろいろな意見を出し合って決め、主に取り組むことを決めている。	11 振り返りをする。 ○前時までの「政治とは、私たちの願いを実現してくれるもの」という考えから、政治についての自分の考えの深まりを書かせる。	くの市民の願いや将来に必要な願いについて十分に話し合いながら取り組んでいることについて考え表現している。 (発言・ノート)
--	---	---	---

(5) 板書計画



知識の構造図

地方公共団体や国の政治は、人々の願いを取り入れながら進められており、国民生活の安定と向上を図るために重要な働きをしている。自分たちの生活の向上と安定を図るためには、自分でできることを考えていくことも大切である。⑥

概念的知識

考えて身に
付ける知識調べて身に
付ける知識おさえたい
用語・語句

市の政治は、市民の願いを実現させていて、わたしたちの生活と密接な関係をもっている。

① 私たちは、様々な願いをもって生活していて、その願いは国や市の政治によって実現されている。

人々の願い
国や市の政治

② 公共事業は、市民の願いをもとに行われている。市民の願いを受けて議会で話し合われ決定したことを、市役所が実行している。

市議会 市役所
計画案 予算案 議決

③ 人々の願いを実現する仕事を進めるために、税金が重要な働きをしている。

税金 公共的な事業
協働 自治

④ 人々の生活をよりよくしていくためのさまざまな願いの中から政治は、話し合いを通して重点的な取組を決めている。

子育て支援 少子高齢

⑤ 自分たちの生活の安定と向上を図るためには、政治の働きと共に、自分たちが政治に参加しともに取り組んでいくことが大切である。

布野町まちづくり連合
会 自治